●支部だより

あかしや通信

2020.3 No. 38

北陸支部通常総会

2020ふゆトピア・フェアinとまこまい 除雪展示・実演会

支部活動報告

一般社団法人　日本建設機械施工協会北陸支部

2020ふゆトピア・フェアinとまこまい【除雪機械展示・実演会】

●支部だより

あかしや通信

2020.3 No. 38

目 次／Contents

1. 北陸支部通常総会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. けんせつフェア北陸in富山2019 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 建設技術報告会 ・・ 6
4. 北陸雪氷シンポジウム2019 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 除雪機械管理施工技術講習会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
6. 除雪機械展示・実演会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7. 建設機械整備標準作業工数の改定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
8. 地方自治体への除雪講習会支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
9. 親睦ゴルフ大会 ・・ 16
10. 令和元年度支部行事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
11. お知らせ ・・ 21

■ 表紙写真／けんせつフェア北陸in富山2019（ICT特設会場）

Report 1

北陸支部通常総会

第8回 通常総会

総会

北陸支部第8回通常総会が、令和元年5月14日アートホテル新潟駅前で開催されました。

総会は議決総数127社のうち出席議決権数117社（うち委任状67社）が出席、藤田総務委員長の司会で進められ、丸山支部長及び本部田﨑会長の挨拶の後に書記の任命、総会成立宣言、議事録署名人の選出を行い、議事に入りました。

議事は、第１号議案「平成30年度事業報告」に関する件、第２号議案「平成30年度決算報告」に関する件について上程し、異議なく承認されました。

第３号議案「令和元年度事業計画」に関する件、第４号議案「令和元年度収支予算」に関する件について、異議なく報告を終了しました。（本部理事会決議の報告事項）

続いて本部及び施工技術総合研究所の事業報告が田﨑会長より行われました。

丸山支部長挨拶

本部　田﨑会長挨拶

北陸支部運営委員会名簿

支部長	丸山　暉彦　長岡技術科学大学　名誉教授	
副支部長	村井　秀之　新潟トランシス㈱　取締役	
運営委員	植木　義明　㈱植木組　取締役社長	大場　信秀　㈱NIPPO　執行役員北信越支店長
	遠藤　聡一　遠藤鋼機㈱　代表取締役	田邉　泰弘　日本キャタピラー（同）販売事業部北越地区　営業部長
	市村　稿　㈱加賀田組　代表取締役社長	小野　清和　コベルコ建機日本㈱　上信越支社長
	北川　隆明　北川ヒューテック㈱　代表取締役社長	野口健太郎　㈱日の出自動車　代表取締役
	池野　正志　㈱興和　代表取締役社長	小柳　一太　福田道路㈱　執行役員新潟本店長
	山口　真　コマツカスタマーサポート㈱ 関越カンパニー社長	原田　知生　北越工業㈱　執行役員生産管理部長
	両角　勝夫　大成ロテック㈱　北信越支社長	近藤　淳　（一社）北陸地域づくり協会　理事長
	阿部　敏明　東亜道路工業㈱　北陸支店長	真柄　卓司　真柄建設㈱　代表取締役社長
	田中　秀和　日本道路㈱　執行役員北信越支店長	

永年会員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰

総会に引き続き本部会長から、永年役員1名及び永年会員40年3社、30年2社、20年2社の表彰を実施、また、会員で永年勤務され勤務成績優秀で他の社員の模範となる優良建設機械運転員13名、整備員4名の表彰を行いました。なお、第4回総会より優良建設機械運転員及び整備員の方々には、受賞を記念したバッチが贈呈されております。

● 永年会員表彰

北陸支部団体会員	会　社　名
会員期間40年	㈱ガイアート　北陸支店
	㈱北越舗道
	㈱上越商会
会員期間30年	㈱金沢舗道
	㈱IHIインフラ建設　北陸支店
会員期間20年	コマツ教習所㈱　粟津センタ
	田中産業㈱

● 永年役員表彰（7年以上）

氏　　名	会社名・役員名
遠藤　聡一	遠藤鋼機㈱　（代表取締役） 支部運営委員

● 優良建設機械運転員・整備員

種　別	氏　名	所　　属
運　転　員	長谷部　達也	㈱加賀田組
〃	東條　　仁	鹿島道路㈱
〃	笹川　勇治	㈱上越商会
〃	加藤　信幸	世紀東急工業㈱
〃	久保田　克之	田中産業㈱
〃	榎本　次雄	㈱戸田組
〃	堀川　祐一	日本道路㈱
〃	新保　　寿	㈱北越舗道
〃	佐々木　克広	丸運建設㈱
〃	中田　　渉	道路技術サービス㈱
〃	山本　厚志	宮口建設㈱
〃	大久保　信夫	北川ヒューテック㈱
〃	菅谷内　洋和	沢田工業㈱
計	13名	
整 備 員	室橋　剛広	㈱笠原建設
〃	小宮山　道夫	コマツカスタマーサポート㈱ 関越カンパニー
〃	羽鳥　雅晴	㈱ニットク
〃	鈴木　喜邦	日立建機日本㈱
計	4名	

永年会員感謝状贈呈

優良運転員・整備員感謝状贈呈

永年会員・永年役員表彰　記念撮影

優良運転員・整備員表彰　記念撮影

特別講演

表彰式の終了後には特別講演として北陸地方整備局企画部長 内藤　正彦様から「国土交通行政の最近の話題」と題して、ご講演頂きました。

講演内容は下記に示す内容で行われ、協会員の関連企業の皆様におかれましては、真剣な表情でお聞きになられておりました。

北陸地方整備局内藤企画部長講演状況

■ 講演概要

●国土交通省及び北陸地方整備局の予算概要	●災害対応
●防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策	●社会資本の老朽化対策
●地域づくり	●建設業における担い手確保に向けた働き方改革
・信濃川河川改修（大河津分水路）	●建設現場の生産性向上
・梯川河川改修	●受発注者間のコミュニケーション確保
・利賀ダム建設事業	●北陸ブロック発注者協議会
・国道7号朝日温海道路（日本海沿岸東北自動車道	●施工企画課に関する動向
・国道289号八十里越	・島崎川排水機場ポンプ設備
・国道41号猪谷楡原道路	・手取川ダム放流管バルブ設備
・国道159号金沢東部環状道路	・1次除雪機械情報化施工技術の開発
・新潟駅付近連続立体交差事業	・砂防ICTの実施に向けた技術開発　など
・富山駅付近連続立体交差事業　など	●平成30年度今冬の雪

懇談会

総会終了後には同ホテル内の「湯沢の間」にて懇談会が行われ、丸山支部長の開会挨拶後、運営委員でおられます（一社）北陸地域づくり協会理事長　近藤　淳様から乾杯の発声をいただき、懇談会が和気あいあいと進行しました。最後には47年間の永年会員で協会を支えていただいております岩崎工業㈱の岩﨑代表取締役様から締めを行っていただき閉会しました。

丸山支部長挨拶

近藤様からの乾杯

岩﨑様からの閉会の挨拶

Report 2

けんせつフェア北陸in富山2019

フェア開催

けんせつフェア北陸は産・官・学の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化や様々な技術開発の促進へとつなげるとともに、新技術・新工法の積極的な活用促進や建設技術を活かした地域づくり、建設分野の担い手確保を目的に開催されており、平成5年から14回目で富山県内では初めての開催となりました。

フェアは令和元年10月2日～3日に富山産業展示館（テクノホール）で開催され、展示技術は「安全・安心」「自然・文化」「連携・活力」の3テーマにより展示され、出展企業から多くの来場者に知って頂くプレゼンテーションも行いました。

屋外では「i-Construction貫徹の年」として、建設現場の生産性向上を牽引するＩＣＴ関連技術を集め、体験型の「ＩＣＴ特設展示」を前回から継続して実施しました。なお、出展は151機関から355技術の展示があり、4,625名の来場者数がありました。

オープニングセレモニー（テープカット）

主催

開会挨拶：吉岡北陸地方整備局長

来賓挨拶：国土交通省　総合政策局
森戸公共事業企画調整課長

「けんせつフェア北陸in富山2019」の実行委員会（構成機関・団体）

- 国土交通省　北陸地方整備局
- 新潟県／・富山県／・石川県／・新潟市／・富山市
- 東日本高速道路（株）新潟支社
- 中日本高速道路（株）金沢支社
- （一社）日本建設業連合会 北陸支部
- （一社）日本道路建設業協会 北陸支部
- （一社）新潟県建設業協会
- （一社）富山県建設業協会
- （一社）石川県建設業協会
- （一社）日本建設機械施工協会 北陸支部
- （一社）北陸土木コンクリート製品技術協会
- （一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部
- （一社）建設電気技術協会 北陸支部
- 北陸地質調査業協会
- （一財）日本建設情報総合センター 北陸地方センター
- （一社）日本埋立浚渫協会 北陸支部
- （一社）新潟県融雪技術協会
- （一社）日本橋梁建設協会 北陸事務所
- （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部
- 北陸PC防雪技術協会
- （一財）新潟県建設技術センター
- （一社）北陸地域づくり協会

出展概要

今回の出展技術は、安全・快適に暮らせる生活環境の実現に向けた技術などの「安全・安心」が270技術、地球環境への負荷の軽減と生活環境改善技術などの「自然・文化」が21技術、地域内外との交流・連携強化を補う技術などの「連携・活力」が62技術の出展がありました。

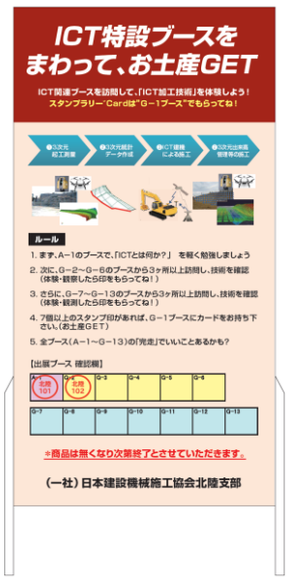
区　分	出展者	出展技術（テーマ別）			
		安全・安心	自然・文化	連携・活力	安全・安心 連携・活力
官公庁（整備局・自治体）	6	10	1	7	2
高速道路（グループ会社含む）	5	11			
学校（富山大、富山県立大、金沢大、金沢工大）	4	10		1	
協賛社（北陸電力、関西電力、JR東日本）	3	4	3	1	
民間（主催加盟）	74	133	9	49	
民間（単独：主催未加盟）	59	102	8	4	
合　計	151	270	21	62	2
		355			

屋外展示場（ICT特設展示）

本フェアのキャッチフレーズ「次世代へ、イノベーションをもたらす建設技術」を踏まえ、屋外には主要・規格イベントとして、体験型のＩＣＴ関連特設展示会場が設けられ、当協会では建設機械のマシンコントロール・マシンガイダンスなどの施工実演・体験協力を行いました。

ＩＣＴ特設展示は測量機器企業、施工支援企業、ソフトベンダー、建機メーカー、レンタル企業12社が展示され、ブース訪問によるスタンプラリーを企画したところ、多くの学生さんが訪れ熱心に各展示ブースを見学していただきました。

■屋外展示会場及びICT特設展示会場



Report 3

建設技術報告会

報告会開催

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術・新工法を報告することにより、研究開発技術の普及を図る目的で「北陸地方建設事業推進協議会（運営委員会）」にて承認され、令和元年度「建設技術報告会」が令和元年10月2～3日に富山産業展示館（テクノホール）にて開催されました。

今回の報告会は、「けんせつフェア北陸」に合わせて同時開催が行われ、今回は24回目で2日間にて実施されたことから764名の聴講者があり、前回より約200名多い聴講者となりました。

基調講演では、国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構　第一宇宙技術部門　冨井　直弥　技術領域主幹様から「宇宙からのインフラ調査点検」と題して講演されました。

技術報告会の概要

技術報告会では建設技術の基本課題である①良いものを安く（i-Construction）、②社会資本の適切な維持管理・更新、③雪に強い地域づくり、④自然災害からの安全確保、⑤環境の保全と創造、⑥その他の6テーマに分類され、民間19題、国交省4題、富山県2題の計25課題の発表が行われ、そのうち当協会員からは８技術報告がなされました。なお、東館大展示場には技術パネル展示コーナー及びＮＥＴＩＳ等パンフレット配布コーナーが設けられました。

北陸地方整備局内藤企画部長の開会挨拶

宇宙航空研究開発機構　冨井様の基調講演

「建設技術報告会」の実行委員会（構成機関・団体）

- 国土交通省　北陸地方整備局
- 新潟県／・富山県／・石川県／・新潟市
- 東日本高速道路（株）新潟支社
- 中日本高速道路（株）金沢支社
- （一社）日本建設業連合会 北陸支部
- （一社）日本道路建設業協会 北陸支部
- （一社）新潟県建設業協会
- （一社）富山県建設業協会
- （一社）石川県建設業協会
- （一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部
- （一社）日本建設機械施工協会 北陸支部
- （一社）北陸土木コンクリート製品技術協会
- （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部
- 北陸PC防雪技術協会
- （一社）新潟県融雪技術協会
- （一財）新潟県建設技術センター
- 北陸地質調査業協会
- （一社）日本埋立浚渫協会 北陸支部
- （一社）北陸地域づくり協会
- （一社）日本橋梁建設協会 北陸事務所

技術報告内容

報告会の聴講者状況

村下北陸技術事務所長
閉会挨拶

■令和元年度報告技術論文

No.	報　告　論　文	発表会社名	支部会員
1	多用途に適用可能な高耐久性常温補修材	鹿島道路㈱	○
2	全天候型高耐久常温アスファルト合材（楽ファルト）の開発	大林道路㈱	
3	より高品質な維持修繕技術の開発	世紀東急工業㈱	○
4	プレキャストコンクリート版を採用したトンネルインバートの製造・施工報告	日本サミコン㈱	○
5	富山県付近連続立体交差事業について ～あいの風とやま鉄道線富山駅全線高架化	富山県	
6	音響付加型凍結抑制舗装工法メロディウエイ（ザペックタイプ）の開発	世紀東急工業㈱	○
7	ICT活用による除雪機械の情報化施工技術開発	北陸地方整備局 北陸技術事務所	
8	ヒートポンプレス下水熱融雪システムに関する実証研究	㈱興和	○
9	倶利伽羅防災トンネルにおけるCIMの活用検討	北陸地方整備局 富山河川国道事務所	
10	トンネル鋼製支保工建込みロボットの開発	前田建設工業㈱	
11	IoTを活用した新しい山岳トンネル施工管理手法	清水建設㈱	
12	山岳トンネル工事の安全および効率的な施工を支援する新技術	大成建設㈱	
13	DNA解析技術・撮影技術の導入による生物調査の高度化・効率化の取り組み	北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所	
14	水底土砂ポンプ浚渫工法	あおみ建設㈱	
15	ベルリプレイス工法における公開実証実験の報告	真柄建設㈱	○
16	CI-CMC-HA工法	㈱不動テトラ	
17	土木新製品開発支援事業の取組みについて	富山県	
18	法面工向け体験型VR安全教育システム	㈱興和	○
19	水理模型実験による防波堤反射波低減構造の検証	新潟港湾空港 技術調査事務所	
20	ケーソン無人化据付施工支援システム	若築建設㈱	
21	低セメント量の高流動コンクリート「ニューロクリートNeo」	㈱大林組	
22	重機搭載レーザー計測システムの開発	㈱フジタ	
23	地盤改良工法のデジタル化・見える化技術 薬液注入『Grout Conductor』	日特建設㈱	
24	航行支援システム「ARナビ」	東亜建設工業㈱	○
25	MCツインヘッダによる軟岩・中硬岩の法面整形について	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	

■特別技術報告

今回の報告会では、前回の報告のアンケートを基にi-Construction（ＩＣＴ活用）が平成28年度から「生産性革命元年」と位置付け、今年の4年目は「貫徹の年」と位置付けられ、建設従事者に必要とされる技術を習得するため、特別技術報告として当協会員のコマツ様から「ＩＣＴ現場の現状と今後の展望」と題して、スマートコンストラクション推進本部副本部長兼国内販売本部　小野寺　昭則副部長をお招きして、発表していただきました。

小野寺　昭則 様の特別技術報告

Report 4

北陸雪氷シンポジウム2019

シンポジウム開催

北陸雪氷シンポジウムは、雪国における真に豊かな社会生活を実現するため、各地域・各機関で取り組んでいる克雪・利雪に関する研究や、ハード・ソフトに渡る様々な取組について意見交換を行い、地域の活性化と雪国の発展に寄与する目的として、昭和61年度から平成27年度までに第30回の開催が行われていました。

その後においては、研究成果を発表する機会が本シンポジウム以外でもあること、また、除雪に関する開発・技術が熟成期に入っていること等から、3年に1回の開催が幹事会で決定されました。

しかしながら、平成27年度以降は開催されませんでしたが、令和元年度から北陸で進めている「雪対策に関するトップランナーの取組を内外に広く発信するとともに、課題やニーズを明確化し、解決に向けて最新の装備・技術・知見について情報交換を図るために、令和元年11月12日にホテルニューオータニ長岡で開催されました。北陸支部も主旨に賛同し、運営スタッフの派遣を行いました。

シンポジウムでは、特別講演として新潟県湯沢町生まれで元アルペンスキー日本代表である皆川賢太郎様をお招きして「ウインタースポーツとリゾートについて」、また、基調講演では筑波大学名誉教授である石田東生様をお招きして「持続可能な地域とこれからの道路除雪」の講演が行われました。

技術研究発表会の内容

雪氷に関する技術研究発表は、応募論文24題から10題を選定したうえで①技術開発・環境対策、②冬季の緊急時における他機関との連携、③冬季道路交通の安全・安心、④地域づくり、⑤冬季観光、⑥その他に分類して2会場にて発表されました。

パネルディスカッションでは、「道路雪対策を持続的に発展させていくためには」と題して、長岡技術科学大学院　佐野教授をコーディネーターに、「小売・流通」「除雪施工者」「機械開発」「先端技術」「気象」「行政」の6名のパネリストで意見交換が進められました。

皆川　賢太郎 様の特別講演

石田　東生 様の基調講演

「北陸雪氷シンポジウム2019」の実行委員会（構成機関・団体）

- 国土交通省　北陸地方整備局
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 新潟市
- 東日本高速道路（株）新潟支社
- 中日本高速道路（株）金沢支社
- 北陸雪対策連絡協議会
- 長岡技術科学大学
- (国研)防災科学技術研究所　雪氷防災研究センター
- (公社)雪センター
- (一社)北陸地域づくり協会
- (一社)日本建設機械施工協会 北陸支部
- (一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部

No.	発　表　論　文	所　　属	発表者
A会場【座長：高橋　修（長岡技術科学大学大学院　教授）】			
1	ICT活用による除雪機械の情報化施工技術開発	北陸地方整備局　北陸技術事務所 施工調査・技術活用課	小浦方　一彦
2	新潟県における冬期道路交通確保及びICT技術を活用した雪崩災害対応の取り組み	新潟県土木部　道路管理課	吉田　あみ
3	IoTを用いた冬期交通網管理の最適化に関する研究	防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター	山下　克也
4	雪氷作業への新型路面センサの導入	中日本高速道路㈱　金沢支社 環境・技術管理部　品質検査課	中村　貴男
5	富山における積雪深増加時の降水粒子特性に関する研究	富山大学大学院　理工学教育部	更科　　孟
B会場【座長：上石　勲（国立研究開発法人　防災科学技術研究所　雪氷防災研究センター長）】			
6	上越ふゆみち情報配信社会実験の報告	北陸地方整備局　高田河川国道事務所 調査第二課	冨澤　一輝
7	VPISを活用した除雪作業車両位置広報サービス 「除雪NAVI」について	中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋株式会社	松本　剛明
8	より良い雪国を創る新たな仕組みづくり	公益社団法人　中越防災安全推進機構 地域防災力センター	諸橋　和行
9	北陸3県「命を守る呼びかけ～豪雪～」プロジェクト	日本放送協会　福井放送局放送部	角谷　直也
		福井大学　学術研究院　工学系部門	川本　義海
10	マイコン画像処理による安価な積雪センサの開発	福井県工業技術センター	奥田　広行

パネルディスカッション【道路雪対策を持続的に発展させていくためには？】

パネルディスカッション状況

職種	所　　属	参加者
コーディネーター	長岡技術科学大学大学院　教授	佐野　可寸志
【パネリスト】		
小売・流通	（株）原信　中之島物流センター長	金山　　豊　氏
除雪施工者	（株）文明屋　代表取締役	大野　　康　氏
機械開発	（一社）日本建設機械施工協会　技師長	穂苅　正昭　氏
先端技術	東京大学大学院　工学系研究科　特任教授	永谷　圭司　氏
気象	富山大学　都市デザイン学部　地球システム科学科　教授	安永　数明　氏
行政	国土交通省　北陸地方整備局　道路部長	岩見　吉輝　氏

報告会の聴講者状況

【デスカッションの総括】

- ●産官学によるコンソーシアムの設立
- ●除雪体制維持のための継続的な検討
- ●集中的な大雪時における道路利用者の利用抑制を促す取り組み
- ●シンポジウムの継続的な開催

Report 5

除雪機械管理施工技術講習会

講習会開催

本除雪講習会は、降雪期における道路除雪作業に使用する除雪機械を運転するにあたって、安全及び効率的な施工を習得していただくことを目的に開催しているものです。この講習会は、昭和56年に除雪機械安全点検整備講習会としてスタートしており、昭和61年から除雪機械管理施工技術講習会としているものです。

令和元年度の講習会開催は、アンケート結果を踏まえ従来7地区の開催でしたが、石川県の能登地区を追加し、受講人数は8箇所で886名でありました。なお、講習会の受講者の希望者に応じて、(一社) 全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）の発行(ユニット数５)を行いました。

北陸支部では従来メール等での申し込みでありましたが、令和元年度からホームページから申込みが可能となりました。

講習会開催場所及び講習内容

■開催場所及び受講者数

会 場 名	開催日	会　　場	受講者数
魚 沼 会 場	10月 7日(月)	魚沼市地域振興センター	231名
上 越 会 場	10月 9日(水)	上越商工会議所	118名
新 発 田 会 場	10月10日(木)	新発田市地域交流センター	74名
富 山 会 場	10月17日(木)	富山県農協会館	74名
長 岡 会 場	10月21日(月)	ハイブ長岡	145名
金 沢 会 場	10月23日(水)	石川県地場産業振興センター	66名
能 登 会 場	10月24日(木)	のとふれあい文化センター	65名
新 潟 会 場	10月31日(木)	新潟県建設会館	113名
合 計			886名

■講習会内容

時 間	科　　目	講　　師
9:30～	受　付	
10:00～	開　会	(一社)日本建設機械施工協会
10:00～10:20	除雪への取組について	国土交通省北陸地方整備局
10:20～11:00	除雪における交通事故防止について	県警 交通企画課長 等
11:00～12:00	除雪施工法について	除雪施工　技術担当者 等
12:00～13:00	（　昼　食　）	
13:00～13:30	除雪作業における安全管理他について	除雪施工　技術担当者 等
13:30～14:30	除雪ﾄﾞｰｻﾞ及び除雪ｸﾞﾚｰﾀﾞの点検、取扱上の留意点	除雪機械メーカ 技術担当者
14:30～14:40	（　休　憩　）	
14:40～15:40	ﾛｰﾀﾘ除雪車及び凍結剤散布車の点検、取扱上の留意点	除雪機械メーカ 技術担当者
15:40～16:00	受講証の交付、閉講	(一社)日本建設機械施工協会

技術担当者 説明状況

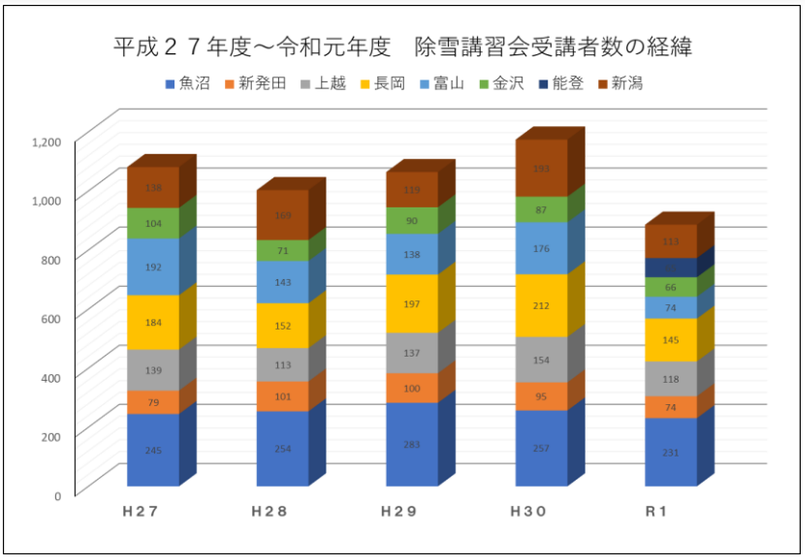
魚沼会場の講習状況

過去5か年の除雪講習会受講者

平成27年度から令和元年度の5か年の除雪講習会の地区別の受講者実態調査結果から、新規に開催した能登地区以外はすべてマイナスとなってしまいました。

その中で、前年度対比で30％以上の受講者数減少地区は、「長岡会場」「富山会場」「新潟会場」の3個所であり、最も減少率がおおきかったのは「富山地区」となっています。

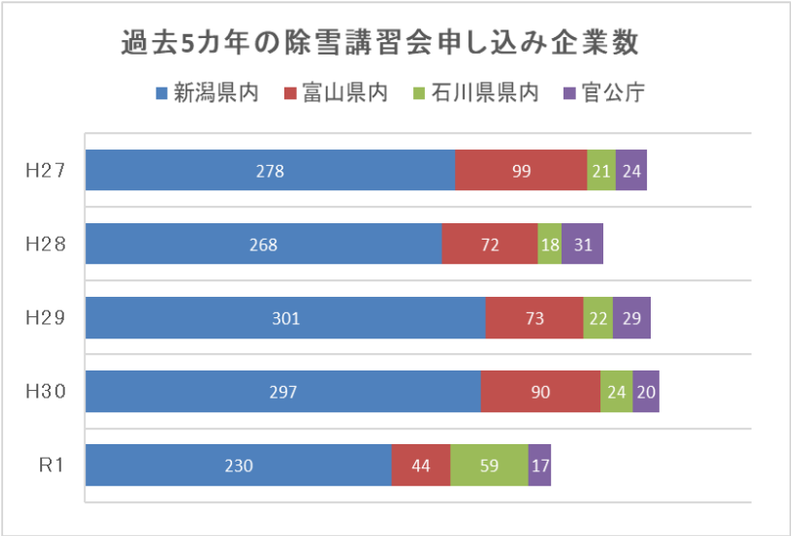
受講者の「官公庁」、「会員企業」、「非会員企業」別に見てみると、昨年度と同等であり、官公庁は5％程度、会員企業は20％程度、非会員企業は75％程度でありました。



過去5カ年の受講者企業数（新潟県・富山県・石川県・官公庁）

受講者の「官公庁」、「会員企業」、「非会員企業」別に似てみると、昨年度と同等であり官公庁は5％程度、会員企業は20％程度、非会員企業は75％程度でありました。

令和元年度の申し込み受講企業数を調べた結果、石川県は能登会場が増えたことから大幅に増加しましたが、新潟県内企業、富山県内企業、官公庁が大幅に減少しました。この実態を受け、除雪講習会の充実を図るために従前受講企業に向けに受講頻度の実態、講習会の実施時期、講習会の要望事項等のアンケートを実施するとともに、北陸地方整備局の関係機関に乗務基準の一部改定の要望等をお願いしたいと考えています。



■北陸3県の過去5カ年の除雪講習会受講企業数の推移

県・官	除雪講習会の申込み企業社数（企業及び官公庁）							
	H27	H28	H29	H30	R1	計	H27～H30平均との比較	
新潟県内	278	268	301	297	230	1,374	286	80%
富山県内	99	72	73	90	44	378	84	53%
石川県県内	21	18	22	24	59	144	21	278%
官公庁	24	31	29	20	17	121	26	65%
	422	389	425	431	350	2,017	417	84%

Report 6

除雪機械展示・実演会

2020ふゆトピア・フェアinとまこまいの開催

令和2年1月23日(木)～24日(金)の２日間にわたり、北海道苫小牧市において「2020ふゆトピア・フェアinとまこまい」が開催されました。今回の開催地である苫小牧市は世界に繋がる北日本最大の国際拠点港湾・苫小牧湾、北海道の空の玄関・新千歳空港を有し、海・空・陸のアクセスが揃った交通の要衝となっており、製紙業や自動車関連産業、石油関連産業など、物流・産業の拠点であるところです。

除雪機械展示会・実演会は北海道、東北、北陸の３地域の持ち回りで毎年開催されており、北海道の開催名称は「ふゆトピア」、東北・北陸の開催名称は「ゆきみらい」と称しています。

「ふゆトピア・フェア」は、国・地方公共団体・企業・NPO等、様々な方々が参加し、北国の冬の課題克服・ふゆを活かした地域づくりなど、ハード・ソフト両面にわたる技術や取組に関する情報交換に加え、開催地の雪国の魅力を広く発信することで、北国における各主体の活動および相互の連携の発展、地域振興を図ることを目的に開催されました。

当協会が主催する「除雪機械展示・実演会」は、除雪機械の最先端の技術を披露し、機械の技術革新や除雪事業の仕組みを理解していただくと共に、除雪機械の展示・実演と除雪技術を紹介するもので、今回で72回目となる歴史のあるイベントであります。

田﨑会長による開会挨拶

開会式（テープカット）

ふゆトピアの「シンポジウム」は苫小牧市民会館で、「研究発表会」及び「ふゆトピア展示会同時開催イベント」は苫小牧市総合体育館で、「除雪機械展示・実演会」は市民文化公園の出光カルチャーパークグランドで開催され、来場者には「海の駅ぷらっとみなと市場」へも巡回できるシャトルバスが運行され、お土産購入にはとてもよかったかと思います。

除雪機械展示・実演会の開会式では、当協会の田﨑会長の開会挨拶後に９名によるテープカットが行われ、2日間で延べ約2,100名方々が来場されました。

イベントメニュー	1月23日（木）	1月24日（金）
シンポジウム【苫小牧市民会館 大ホール】	14:00～17:00	
研究発表会【苫小牧市総合体育館】		9:30～16:15
ふゆトピア展示会 同時開催イベント【苫小牧市総合体育館　主競技場】	10:00～17:00	10:00～15:00
除雪機械展示・実演会【出光カルチャーパークグランド】	10:30～16:00	10:00～15:30
除雪機械展示・実演会【出光カルチャーパークグランド】		13:00～15:30

展示会場の配置は、実演会場をセンターに配置し、その廻を16社によるロータリ除雪車、除雪トラック、凍結防止剤散布車など最新の除雪機械等の展示がなされ、2日目には除雪車によるチャンピオンシップが行われ大変意義深いものでした。

なお、当協会北陸支部会員ではコマツ、新潟トランシス㈱、㈱ＮＩＣＨＩＪＯ、範多機械㈱、㈱カナモトの出展がありました。

会場配置図・実演スケジュール

ロータリ除雪車による実演状況

北海道開発局

㈱NICHIJO

新潟トランシス㈱

UDトラックス㈱

㈱協和機械製作所

㈱コマツ製作所

矢野口自工㈱

範多機械（株）

日野自動車㈱、フォレストテクニック㈱

㈱カナモト

ニシオレントオール北海道㈱

飛島特装（株）

㈱タイショー

名古屋電機工業㈱、㈱ダイワテック

Report 7

建設機械整備標準作業工数表の改定

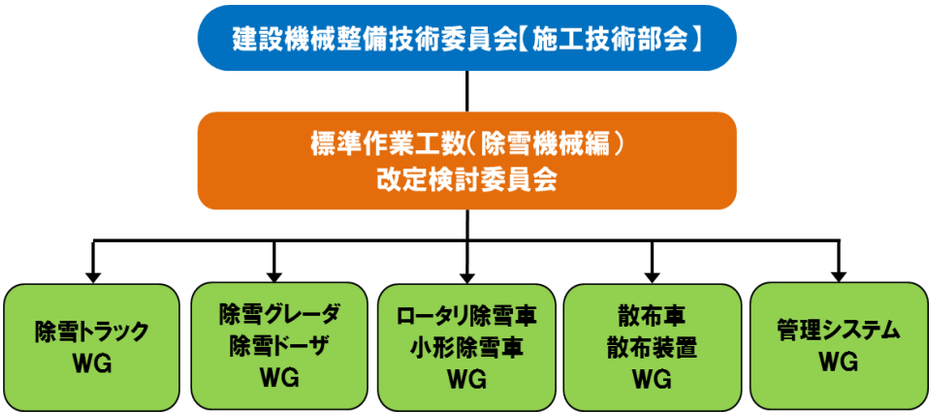
標準作業工数表の改定作業

建設機械整備標準作業工数（除雪機械編）は、昭和56年4月に第1版が発行されて以来、全国の国や県・市町村に広く利用され第9版を重ねてきました。本工数表は官公庁と整備業者が共通の認識を基に、相互に共用できる適正な整備作業工数として多方面から使用され、除雪機械の運用管理や除雪用機械の整備業務計画の合理化のため、大きな役割を果たしてきました。

こうした中、「排出ガス対策規制強化による機械の見直し」、「除雪グレーダの機種統合」、「除雪ドーザの生産中止や事業譲渡」が行われ、現在の工数表が適用できない作業項目が数多く見られてきたことから、令和元年7月に第10版の発行を行いました。

標準作業工数表（除雪機械編）は、当協会の施工技術部会において除雪機械メーカー、整備業者、除雪施工者等で構成される建設機械整備技術委員会を設け、官公庁のご意見やご助言をもとにとりまとめを行いました。令和元年度末の販売数は約600冊となっています。

1. 改定の体制



2. 改定委員会名簿

委員長	水澤　和久	範多機械㈱　特販部　次長
委員	前田　祐徳	岩崎工業㈱　特販部長
	小林　憲和	コマツカスタマーサポート(株)　関越カンパニー
	藤田　義政	日本キャタピラー(同)　プロダクトサポート事業本部 北陸地区　担当部長
	天野　良仁	日立建機日本(株)　北関東・信越支社　新潟支店長
	駒村　哲行	新潟トランシス㈱　カスタマーサポートセンター業務部長
	北橋　紀人	㈱NICHIJO　北陸営業所課長
	齋藤　実	㈱星野自動車工業　取締役営業部長
	矢野　達夫	㈱山崎サービス　営業部長
	矢尾板　勝仁	㈱日の出自動車　長岡工場長
	安田　員也	㈱安田工作所　代表取締役
	星野　政之	㈱テッコ横山　常務取締役
	中村　匡志	千代田機電(株)　取締役営業本部長
	野末　真利	矢崎エナジーシステム(株)　関東計装営業部 北関東販売チーム
	中野　優樹	㈱長岡計器　技術サービス部　部長
	佐藤　聡	㈱北越アローサービス　代表取締役
	羽田　誠治	福田道路㈱　機械センター　所長
	川村　正文	㈱加賀田組　新潟支店　舗道部機械課長
	関　一之	㈱笛田組　車両課長
	阿部　孝弘	㈱上越商会　濁川車輌部課長

除雪用機械編	
除雪トラック	1
路面製正装置	
サイドシャッヤ装置	
粗面形成装置	
自動制御装置	
除雪グレーダ	2
サイドシャッヤ装置	
サイドウイング装置	
粗面形成装置	
自動制御装置	
ロータリ除雪車	3
ロータリ除雪装置	4
除雪ドーザ（ホイル式4t～19t級）	5
凍結防止剤散布者及び散布装置	6
小形除雪車	7
共通編	
建設機械施工管理システム	8
維持用機械編	
草刈装置（ロータリ除雪車用）	9

標準作業工数表記載内容

Report 8 地方自治体等への除雪講習会支援

除雪講習会支援

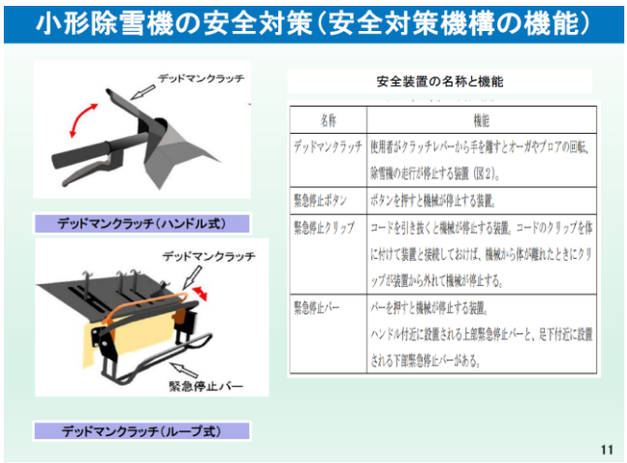
令和元年度においては、毎年実施している「除雪作業に関する安全講習会」の要請を受け妙高市や新潟市に、また、阪神高速技術㈱から初めて除雪講習会の要請があったことから講師の派遣を行っております。

妙高市では毎年、無事故無災害での道路除排雪作業を目指し、市道除雪作業に従事する除雪作業員を対象とした安全講習会を開催、新潟市は降雪の際に、児童・生徒の安全・安心な通学路を確保するため、地域の歩道をボランティアで除雪して頂けるよう団体・事業者に対して歩道除雪機の貸し出しを行うため、講習会の開催が行われました。

また、阪神高速技術㈱では市道除雪に従事する除雪作業員を対象とした高速道路維持における講習会が行なわれました。

妙高市の除雪講習会は、令和元年10月31日に約100名を対象に「除雪機械の作業方法及び点検方法について」の内容を説明、新潟市の除雪講習会は令和元年12月4日に約50名を対象に「歩道で機械除雪を行う注意点及び留意点」を説明しました。

また、阪神高速技術㈱の除雪講習会は、令和元年11月5～6日の2日間で約50名を対象に高速道路除雪に起因する事故対策、事前対策、危険予知訓練等の内容を説明しました。



実施日	依頼者	講習人員	講習場所
令和元年10月31日（木）	妙高市建設課	約100名	妙高市勤労者研修センター
令和元年11月 5日（火） ～11月 6日（水）	阪神高速技術㈱ 保全技術研修室	計50名	オリックスビル 11F 大阪市西区西本町1-4-1
令和元年12月 4日（水）	新潟市役所 中央区役所建設課	約100名	新潟市役所本館

阪神高速技術㈱の講習状況

Report 9

親睦ゴルフ大会

日本建設機械施工協会北陸支部の親睦ゴルフ大会が、令和元年9月25日にフォレストカントリー倶楽部にて開催されました。

参加者11名と少人数でありましたが天候にも恵まれ、「今度こそ優勝するぞ！」との思いからスタートされ真剣に取り組まれました。

競技は9ホールペリア方式でドラゴン賞2ホール、ニアピン賞４ホールで行われ、何十年ぶりで再開された人がおられましたが、ニアピン賞を取られた人もいました。しかしながら、力が入りすぎたかはわかりませんが、ニアピン賞の1ホールでは対象者がありませんでした。

なお、上位成績は下記のとおりとなりました。来年度の大会は「うまい人」「下手な人」「一度はやめた人」に関係なく、大勢の参加を期待します。

■ゴルフ大会成 績 表

順　位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	受賞
優　勝	本田　一郎	44	39	83	11.2	71.8	NP.17,DC.6
準優勝	藤田　明	58	44	102	28.8	73.2	
３　位	坪内　昭雄	51	46	97	20.8	76.2	
４　位	堤　雄生	51	55	106	27.2	78.8	
５　位	小正路　博	61	54	115	36.0	79.0	DC.12

大会前の集合記念撮影

【優勝者の一言】

今回は県内で唯一の３６ホール「フォレストＣＣ西コース」で開催されました。

同伴競技者は藤田様（㈱興和）、川瀬様（㈱加賀田組）、坪内様（福田道路㈱）、藤田様、川瀬様とは始めてでしたが、ルールに厳しくも楽しく回らせていただきました。

勝因は組数が３組と少なかったこと、望外のバーディ２ヶが隠しホールであったこと、最後にハンディに恵まれたことかと思います。

古希を迎えましたが、丸山久一先生とエイジシュートを目標に切磋琢磨しています。

また機会がありましたら＜成果発表会＞皆さまとのラウンドを楽しみにしています。

最後に段取りしていただいた、事務局の皆さま、本当にありがとうございました。　感謝感謝

令和元年９月２６日

Report 10

令和元年度　支部行事

総会・運営委員会

■ 平成30年度北陸支部支部監査

月　日：平成31年4月22日（月）
場　所：北陸支部事務室
出席者：本間　久雄、髙村　直哉支部監査役
議　題：業務監査（支部業務全般にわたる適正
　　適法性について）
　　会計監査（賃借対照表、正味財産増減計算書
　　財産目録の適正、適法性について）

■ 令和元年度第１回運営委員会

月　日：令和元年5月14日（火）
場　所：アートホテル新潟駅前
出席者：丸山暉彦　北陸支部長　他22名
議　題：①平成30年度事業報告(案)及び決算報告(案)について
　　②支部監査役監査報告について
　　③優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について

■ 北陸支部第８回通常総会

月　日：令和元年5月14日（火）
場　所：アートホテル新潟駅前
出席者：丸山暉彦　北陸支部長他117社
議　題：①平成30年度支部事業報告及び決算報告について
　　②令和元年度事業計画及び収支予算について
記念行事：永年継続会員等の表彰
　　優良建設機械運転員並びに整備員の表彰
　　記念講演会

■ 令和元年度第２回運営委員会

月　日：令和2年3月23日（火）　（新型コロナウイルスのため書面評決に変更）
場　所：東映ホテル
議　題：①令和年度事業中間報告及び見込み決算について
　　②令和2年度事業計画及び予算について
　　③支部団体会費の改定について

企画部会

■ 第１回企画部会

月　日：平成31年4月25日（木）
場　所：新潟県建設会館
出席者：穂苅正昭　企画部会長　他13名
議　題：①平成30年度事業報告及び決算報告について
　　②平成30年度監査報告について
　　③令和元年度優良建設機械運転員・整備員表彰について

■ 第１回 北陸ICT戦略研究会

月　日：平成31年4月26日（金）
場　所：新潟国道事務所B棟大会議室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①平成31年度のICT戦略推進の取組計画(案)
　　②ICTの普及拡大に向けたロードマップ
　　③整備局における当面の取組計画(案)
　　④ICT普及・拡大計画工程表
　　⑤ICT活用講習会（入門者クラス・実践者クラス）
　　⑥チャレンジ砂防プロジェクト体験講習会(案)
　　⑦けんせつフェア北陸in富山2019の取組
　　⑧会員各機関の取組計画（案）について

■「けんせつフェア北陸in富山2019」第１回幹事会

月　日：令和元年6月14日（金）
場　所：北陸地方整備局4F共用会議室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①出展者募集結果について
　　②会場配置計画(案)について
　　③実施計画（案）について
　　④修正予算（案）について

■「けんせつフェア北陸in富山2019」第２回実行委員会

月　日：令和元年7月8日（月）
場　所：北陸地方整備局4F共用会議室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①出展者募集結果について
　　②会場配置計画(案)について
　　③実施計画（案）について
　　④修正予算（案）について
　　⑤ICT特設会場（屋外会場）について

■ 北陸防災連絡会議　幹事会

月　日：令和元年8月8日（木）
場　所：北陸地方整備局4F共用会議室
議　題：①運営要領の改正案について
　　②受援計画について
　　③主な防災・減災関連施策
　　④自然災害伝承碑
　　⑤台風進路の予想の改善

■「けんせつフェア北陸in富山2019」実演スケジュール会議

月　日：令和元年9月10日（火）
場　所：北陸支部事務室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①中央イベント広場のスケジュール
　　②実演スケジュール時間帯について
　　③来場者への宣伝看板について

■「けんせつフェア北陸in富山2019」の開催

月　日：令和元年10月2日（水）～3日（木）
場　所：富山産業展示館（テクノホール）
出席者：堤　雄生　事務局長
来場者：4，625名

■「けんせつフェア北陸in富山2019」
第3回実行委員会・幹事会合同会議

月　日：令和元年12月18日（水）
場　所：新潟国道事務所B棟大会議室
出席者：堤　雄生　幹事
議　題：①開催結果報告について
②収支決算報告について
③次回（第15回）開催について

■「ゆきみらい2021in白山（仮称）」事前会議

月　日：令和2年2月4日（火）
場　所：金沢河川国道事務所 2F会議室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①「ゆきみらい」概要・実施内容について
②実施体制等について
③開催時期・日程について
④今後のスケジュールの共有

■ 広報委員会

月　日：令和2年2月28日（金）
場　所：新潟県建設会館
出席者：上杉修二　広報委員長　他7名
議　題：①機関誌「あかしや通信No.38」の掲載記事について
②No.38の編集及び発刊までのスケジュール

■ 総務委員会

月　日：令和2年2月28日（金）
場　所：新潟県建設会館
出席者：上杉修二　総務副委員長　他11名
議　題：①令和2～3年の部会名簿について
②支部団体会費の改訂に向けて

■ 第2回企画部会

月　日：令和2年3月17日（火）（新型コロナウイルスのため書面審議に変更）
場　所：興和ビル　10階会議室
議　題：①令和元年度事業報告（中間）及び決算（見込み）について
②令和2年度事業計画及び予算について
③優良建設機械運転員・整備員表彰(案)について
④ 北陸支部第9回総会計画について

■ 土木機械設備に関する北陸地方整備局との意見交換会

月　日：令和2年3月11日（水）（新型コロナウイルス発生のためR3年度に延期）
場　所：新潟県建設会館
議　題：働き改革、技術者確保、積算基準について
品質確保等、入札公告、その他について

■ 北陸ICT戦略推進委員会

月　日：令和2年3月18日（水）（新型コロナウイルスのため書面審査に変更）
場　所：新潟国道事務所
議　題：①令和元年度のICT活用の取組状況
②令和2年度のICT戦略推進の取組計画

普及部会

■ 令和元年度 建設技術報告会第1回実行委員会

月　日：令和元年6月14日（金）
場　所：北陸地方整備局4F共用会議室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①「建設技術報告会」実行委員会規約について
②令和元年度実施計画（案）について
③平成30年度予算（案）について

■ 第1回普及部会

月　日：令和元年6月28日（金）
場　所：新潟県建設会館
出席者：柴澤一嘉　普及部会長　他9名
議　題：①平成30年度支部事業報告及び
令和元年度事業計画について
②除雪機械管理施工技術講習会について
③けんせつフェア北陸in富山2019について
④北陸管内ICT活用機械保有・使用実態について
⑤現場見学会の予定について
⑥親睦行事の実施予定について

■ 除雪機械管理施工技術講習会　メーカー講師打合せ

月　日：令和元年8月29日（木）、9月3日（火）
場　所：北陸支部事務室
出席者：堤　雄生　事務局長　他8名
議　題：①令和元年度 除雪講習会の開催について
②過去5か年の受講者の実態について
③H30除雪講習会アンケート結果について
④H30除雪講習会受講者の企業数について
⑤令和元年度の説明資料改善策について

■ JCMA北陸支部　親睦ゴルフ大会

月　日：令和元年9月25日（水）
場　所：フォレストカントリー倶楽部
参加者：北陸支部会員11名

■「建設技術報告会」の開催

月　日：令和元年10月2日（水）～3日（木）
場　所：富山産業展示館（テクノホール）
出席者：坪内　昭雄　普及部会委員その他1名
来場者：764名

■ **除雪機械管理施工技術講習会**
月　日：10月7日（月）～10月31日（木）
場　所：魚沼会場、上越会場、新発田会場、富山会場
長岡会場、金沢会場、能登会場、新潟会場
受講者数：886名

■ **新潟地区現場見学会**
月　日：令和元年10月18日（金）（台風災害のため中止）
場　所：①大河津分水路工事（ICT関連）
②燕市金属加工工場
出席者：柴澤一嘉　普及部会長　他15名

■ **除雪機械管理施工技術講習会の反省会①**
月　日：令和元年12月25日（水）
場　所：北陸支部事務室
出席者：柴澤一嘉　普及部会長　他3名
議　題：受講者減少の対策検討について
（前年度アンケート結果分析、過去5カ年の受講企業分析）

■ **除雪機械管理施工技術講習会の反省会②**
月　日：令和2年1月29日（木）
場　所：北陸支部事務室
出席者：柴澤一嘉　普及部会長　他3名
議　題：受講者減少の対策検討について（1/29）
（今後の対策案件等）

■ **令和元年度 建設技術報告会第2回実行委員会**
月　日：令和2年1月30日（木）
場　所：北陸技術　研修棟第一教室
出席者：堤　雄生　事務局長
議　題：①令和元年度実施報告書について
②令和元年度決算報告書について
③令和2年度「建設技術報告会」開催（案）について

施工技術部会

■ **第5回建設機械整備技術委員会**
月　日：平成31年4月23日（火）
場　所：新潟県建設会館　402号室
出席者：水澤和久　建設機械整備技術委員会委員長
他担当委員18名
議　題：①第1回～第4回までの議事報告について
②改訂全般についての概要
③建設機械整備標準作業工数（案）
④編集委員名簿の掲載等について

■ **第1回新技術活用評価会議**
月　日：令和元年7月3日（水）
場　所：北陸地方整備局　4F共用会議室
出席者：藤田　明　施工技術部会長（新技術評価会議委員）
議　題：①事後評価2件
②有用な技術の選定について
③道路トンネル点検記録の作成支援ロボット技術
の技術比較について
④先端技術等による自然エネルギー、ローカルエネルギー
を活用した技術選定について

■ **第2回新技術活用評価会議**
月　日：令和元年10月25日（金）
場　所：北陸地方整備局　4F災害対策本部長室
出席者：藤田　明　施工技術部会長（新技術評価会議委員）
議　題：①事後評価3件
②有用な技術の指定について

■ **第3回新技術活用評価会議**
月　日：令和元年12月25日（水）
場　所：北陸地方整備局　4F合同会議室
出席者：藤田　明　施工技術部会長（新技術評価会議委員）
議　題：①事前審査1件
②事後評価1件
③令和2年度推奨技術等の選定について

雪氷部会

■ 北陸雪氷シンポジウム2019実行委員会　事務局会議
月　日：令和元年7月4日（木）
場　所：北陸地方整備局4F共用会議室
出席者：穂苅技師長
議　題：北陸雪氷シンポジウム2019の開催について

■ 令和元年度長岡国道事務所雪氷研究会
月　日：令和元年7月12日（金）
場　所：長岡国道事務所 4階大会議室
出席者：穂苅技師長
議　題：①長岡国道事務所の取組について
②異常気象時の対応に伴う課題と対策
③ICT技術を活用した雪崩パトロール
④遠赤外線融雪装置の最適運転条件
⑤消融雪設備点検タブレットの紹介

■ 令和元年度　妙高市除雪作業に関する安全講習会
月　日：令和元年10月31日（木）
場　所：妙高市勤労者研修センター
出席者：穂苅正昭　企画部会長を講師派遣
受講者：約100名

■ 令和元年度　阪神高速除雪作業に関する安全講習会
月　日：令和元年11月5日（火）～6日（水）
場　所：オリックスビル11F（大阪市西区西本町1-4-1）
出席者：穂苅正昭　企画部会長を講師派遣
受講者：約50名

■「北陸雪氷シンポジウム2019」の開催
月　日：令和元年11月12日（火）
場　所：ホテルニューオータニ長岡
出席者：雪氷技術研究発表10題
パネルディスカッション：
道路雪対策を持続的に発展させていくためには？
パネルリスト：穂苅技師長（機械開発）に出演
参加者：350名

■ 令和元年度　小型除雪機安全操作研修会
月　日：令和元年12月4日（水）
場　所：新潟市役所本館3F　対策室3
出席者：穂苅正昭　企画部会長を講師派遣
受講者：約50名

その他

■ 令和元年度庄川・小矢部川総合水防演習
月　日：令和元年5月18日（土）
場　所：富山県高岡市出来田地先
受検者：堤事務局長、CMI佐野部長
展示内容：H30年度に製作した「流水体験装置」

■ 令和元年度　建設機械施工技術検定試験（学科試験）
月　日：令和元年6月16日（日）
場　所：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
受検者：1級　246名（記述式A）、214名（記述式B）
213名（択一式）
2級　490名（択一式）

■ 令和元年度　建設機械施工技術検定試験（実地試験）
月　日：令和元年8月23日（金）～25日（日）
場　所：石川県小松市　コマツ教習所粟津センタ
受検者：1級　64名
2級　155名

■ i-Construction施工講習説明者　認定試験
月　日：令和元年11月5日（火）
場　所：興和ビル　7F会議室
受検者：2名

■ i-Construction施工講習説明者　更新講習
月　日：令和元年11月5日（火）
場　所：興和ビル　10F会議室
受検者：6名

■ 令和元年度　建設機械施工技術検定試験（２級学科試験）
月　日：令和2年1月19日（日）
場　所：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
受検者：2級　63名

■ 令和元年度　調査業務
北陸地方整備局北陸技術事務所及び東北地方整備局より、施工技術総合研究所主務で下記業務を受託。
穂苅 正昭技師長及び堤 雄生事務局長を担当技術者に配置

業務名：災害対策用機械の燃料消費量低減等に関する検討業務
（北陸技術事務所）
除雪機械の情報化施工技術検討他業務
（北陸技術事務所）
路肩堆積土砂撤去に関する検討業務
（北陸技術事務所）
砂防工事ICT活用及び無人化施工による生産性向上に
関する検討業務　（北陸技術事務所）
除雪グレーダのICT技術による運転支援に
関する検討業務　（東北技術事務所）

Report 11

お知らせ

新刊技術図書の案内

販 売 図 書 名	発行年月	非会員 販売価格 税込み(円)	会員 販売価格 税込み(円)	備 考
◆令和元年度版 建設機械等損料表	R1.5	8,800	7,480	国土交通省"建設機械等損料算定表"の内容に準拠 ・機械経費・損料等に関する通達・告示等を掲載 ・燃料・電力消費率を掲載
◆よくわかる建設機械と損料2018	H30.5	6,600	5,610	H30 建設機械等損料表 解説書
◆令和元年度版 橋梁架設工事の積算	R1.5	11,000	9,350	別冊 橋梁補修補強工事 積算の手引きをセット
◆令和元年度版 大口径岩盤削孔工法の積算	R1.9	6,600	5,610	
◆消融雪設備点検・整備ハンドブック	H30.7	13,200	11,000	消融雪設備の老朽化対策としてH28.3に国土交通省が策定した「消融雪設備点検・整備標準要領(案)」の技術者向け解説書
◆令和元年度版 建設機械整備 標準作業工数表(除雪機械偏)	R1.7	8,800	6,600	・排出ガス対策規制強化による機械の見直し ・除雪グレーダの機種統合 ・除雪ドーザの生産中止や事業譲渡による見直し

行事予定

行 事 予 定	実施年月日	開 催 場 所
●令和2年度 北陸支部通常総会	R2.5.12	東映ホテル
●令和2年度 建設機械施工技術検定試験(学科試験)	R2.6.21	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
●令和2年度 建設機械施工技術検定試験(実地試験)	R2..8下旬	石川県小松市コマツ教習所㈱粟津センタ
●令和2年度 除雪機械管理施工技術講習会	R2.10上旬～11上旬	新潟県5会場,富山県1会場,石川県2会場
●令和2年度 建設技術報告会	R2.9下旬～10上旬	金沢市
●令和2年度 建設機械施工技術検定試験(第2回2級学科試験)	R3.1.17	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
●ゆきみらい2021in白山 (仮称)	R3.1下旬	石川県白山市

編 集 後 記

今冬は例年になく暖かく、春寒次第にゆるみ温暖の候となりました。

令和元年度の国内10ュースとして、天皇陛下ご即位、改元、ラクビーW杯日本8強、消費税率アップなどがあげられますが、身近に関係するものとしては、東日本を相次いで台風が襲ったことではないでしょうか。

台風19号では千曲川の決壊など各地の河川の氾濫や土砂崩れ、その後の台風21号の被害も合わせ、死者・行方不明100名超となるなど甚大な災害をもたらし、気候変動に対応するインフラ強化が問題となりました。

また、今冬の積雪状況は12月～1月にかけて降雪が殆どなく、観測史上希に見る少雪暖冬となり、地域経済にいろいろな面で影響をもたらしたと思えます。

令和元年度の北陸支部の事業活動では、5月14日に行った「第8回北陸支部通常総会」を始めとして、建設機械施工技術検定試験、除雪機械管理施工技術講習会等を無事開催できたのも会員の皆様のおかげと感謝しております。

今回発刊した「あかしや通信」が会員皆様と北陸支部との架け橋となり、また、業務の活性化につなげて頂ければよいものと思います。

皆様からの投稿やご要望等お寄せ頂ければ幸いです。

【広報委員長】

一般社団法人
日本建設機械施工協会北陸支部

〒950-0965　新潟市中央区新光町６－１　興和ビル9F
TEL （025)280－0128
FAX （025)280－0134
E-mail：jcmahoku@beige.ocn.ne.jp
URL http://jcma-hokuriku.info/

「あかしや通信」は当協会のホームページからご覧できます。